

2025年07月 現在

Fujitsu Software

Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition V15a (V15.2.5)

Systemwalker Service Quality Coordinatorは、サービス品質から仮想リソースまでを可視化することによるリスク分析や、リソース使用データから将来的なICT計画を支援するソフトウェア製品です。

サービス品質を可視化すると共に、システムを構成する個々のサーバや仮想化環境から収集した性能情報を様々な角度から監視/分析する機能を提供します。

Enterprise Editionは、Standard Editionの機能に加えて、クラスタ／冗長二重化による高信頼運用やManager二階層化による大規模システムでの運用を実現する、基幹系に最適な商品です。

- **Manager**

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **Agent for Business/Agent for Server**

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **運用管理クライアント**

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / FMV / PRIMERGY / FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 IaaS / FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure 仮想マシン / パブリッククラウド

- **Browser Agent**

FMV / マルチベンダーサーバ・クライアント

- **Manager**

Windows Server 2025(64-bit) / Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) /
Windows Server 2016(64-bit)

- **Agent for Business/Agent for Server**

Windows Server 2025(64-bit) / Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) /
Windows Server 2016(64-bit)

- **運用管理クライアント**

Windows 11(64-bit) / Windows Server 2025(64-bit) / Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server
2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

- **Browser Agent**

Windows 11(64-bit)

1. サービス品質の可視化によるリスク管理

Systemwalker Service Quality Coordinator は、ICTシステムの提供する各種サービスから仮想リソースまでを可視化・分析し、ICTシステム全体の最適化を支援します。

(1) サービス品質の可視化によるリスク管理

ICTシステムがエンドユーザーに提供している、業務の処理量、可用性さらにレスポンスタイム等の業務サービス品質を計測し可視化します。また、業務サービスを構成するサーバのリソースの状況（CPU使用率、メモリ使用量、ディスクI/O回数、スペース容量など）、仮想ホストのリソース状況（VMware、Hyper-V、Linux仮想マシン機能（KVM）、Oracle Solaris ゾーン、Oracle VM Server for SPARCなど）、ミドルウェア（Interstage、Oracle、Symfowareなど）の稼働状況についても同様に計測、可視化が可能です。さらに、業務サービス品質や各種のリソース状況については、しきい値を設定し、しきい値超えが発生した場合にはアラーム通知することが可能です。

また、サーバおよび仮想ホストのリソース状況については、エージェントをインストールせずに、リモートでサーバ性能情報を収集・蓄積・分析する機能を提供します。これにより、ICTシステムの状況を確実に把握することが可能となります。

(2) 業務サービス品質維持を支援

業務サービス品質の劣化が発生した場合、業務サービス自体の品質はもちろん、サービスを構成するサーバや仮想ホストのリソースの状況や、ミドルウェアの稼働状況を常時計測し、可視化することが可能なため、システム管理者は即座に問題の発生を確認することができます。また、問題の発生箇所の状況をより詳細に確認することができるドリルダウン機能や、問題発生箇所を軸として、多角的な分析を行うことができるレポート機能など、高度な診断レポートにより、ボトルネックを分析し、業務サービス品質の維持を可能とします。OSおよびVMwareの場合は、当社のノウハウに基づくチューニングガイダンスが品質維持を支援します。

2. 運用の分析と予測に基づく将来的なICT計画を支援

サービス品質とリソースの相関関係の分析や、リソースの将来的な傾向を予測する回帰分析、過去と現在のデータ推移の傾向分析により、将来のICTシステムの性能を予測することができます。これらの分析により、リソース配分の最適化などが可能となり、将来的なコスト削減に結びつきます。

また、仮想化/クラウド環境の利用者、提供者双方のためのシミュレーション機能は、サイジング時間の短縮を実現します。キャパシティプランニングやICT投資判断を的確に行うことができ、最大限のROI効果が図れます。

- スケールアウトシミュレーションは、サーバの増設によるレスポンスタイムの変化を予想し、Web/AP./DBの適切な階層の強化のための判断材料を提供します。

- 物理サーバおよび仮想ホスト（VMwareおよびLinux仮想マシン機能（KVM）の場合）は、仮想集約シミュレーションにより、集約後のリソース使用状況を予測することができ、サーバ数の適正化を支援します。実際のサーバの利用状況と集約後のサーバのスペックを元にシミュレーションするため、これまでのように試行錯誤を繰り返す必要はありません。集約候補となるサーバは、サーバ台数分布（リソース使用状況別）レポートとサーバリソース使用状況一覧レポートで把握することができます。

3. 管理項目

管理できる項目は以下のとおりです。詳細は、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（Systemwalker Service Quality Coordinator）」内の「管理対象」を参照してください。

(1) サーバ性能

インストール型またはインストールレス型のAgentで各プラットフォーム（Windows、Solaris、Linux、AIX）のOS / カーネルの性能を管理します（AIXの場合は、インストールレスの形態での運用となります）。

(2) 仮想ホスト

インストールレス型のAgentで仮想ホストのリソースの情報を管理します。

- VMware
- Hyper-V
- Linux仮想マシン機能（KVM）
- cgroup

- Oracle VM Server for x86
- Oracle Solaris ゾーン
- Oracle VM Server for SPARC

(3) エンドユーザーレスポンス

エンドユーザーがWebサーバにアクセスした時に、体感する応答時間を管理します。

(4) Webトランザクション量

Webシステムへのリクエスト数や、リクエストに対する応答時間を管理します。

(5) 管理対象製品

以下の製品の性能情報を管理します。

- Enterprise Application Platform
- Interstage Application Server
- Interstage Business Application Server
- Primesoft Server
- Oracle WebLogic Server
- Microsoft .NET Framework (Microsoft .NET Server)
- SAP NetWeaver
- Symfoware Server
- Symfoware Analytics Server
- Oracle Database Server
- Microsoft SQL Server
- Enterprise Postgres
- PostgreSQL
- Interstage Service Integrator
- Systemwalker Operation Manager
- Systemwalker Centric Manager
- Systemwalker Network Manager
- ETERNUS SF Storage Cruiser

(6) ユーザーデータ

業務データやシステム稼働データなど、ユーザーの固有データ（CSV形式）を管理します。

4. Webサイトの管理機能

Webサーバに対しては、上記の機能に加え、以下に示すWebサイト管理機能を提供します(Windows版 / Linux版(Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64)上で動作する場合))。

(1) Webアクセスログ分析機能

顧客との接点であるWebサイトの利用状況を様々な観点から分析することにより、顧客ニーズに見合った商品やサービスを提供することを支援します。

• サイトアクセス量分析

Webサイトにどれくらいのアクセスがあるか、人気のあるページはどこか、誰がどのくらいアクセスしている、どこのリンクをたどってきたかなど、Webサイトへのアクセス量を観点とした利用状況を分析することができます。

• サイトナビゲーション分析

顧客がどのページを見ているのか、そのページにどのくらい滞在したか、どのようにページ遷移したかなど、顧客の行動を観点とした利用状況を分析することができます。

(2) セキュリティ監視

Webコンテンツの改ざんを定期的に検査する機能を提供します。

5. 他商品との連携

(1) Systemwalker Centric Manager

Systemwalker Centric Managerと連携することにより、ICTシステム全体を一元管理することができます。本製品で検知した障害は、Systemwalker Centric Managerにて確認できます。また、Systemwalker Centric Managerより本商品の画面を呼び出し、詳細状況を確認することも可能です。

(2) Systemwalker Service Quality Coordinatorとの連携により性能情報の管理が可能な商品

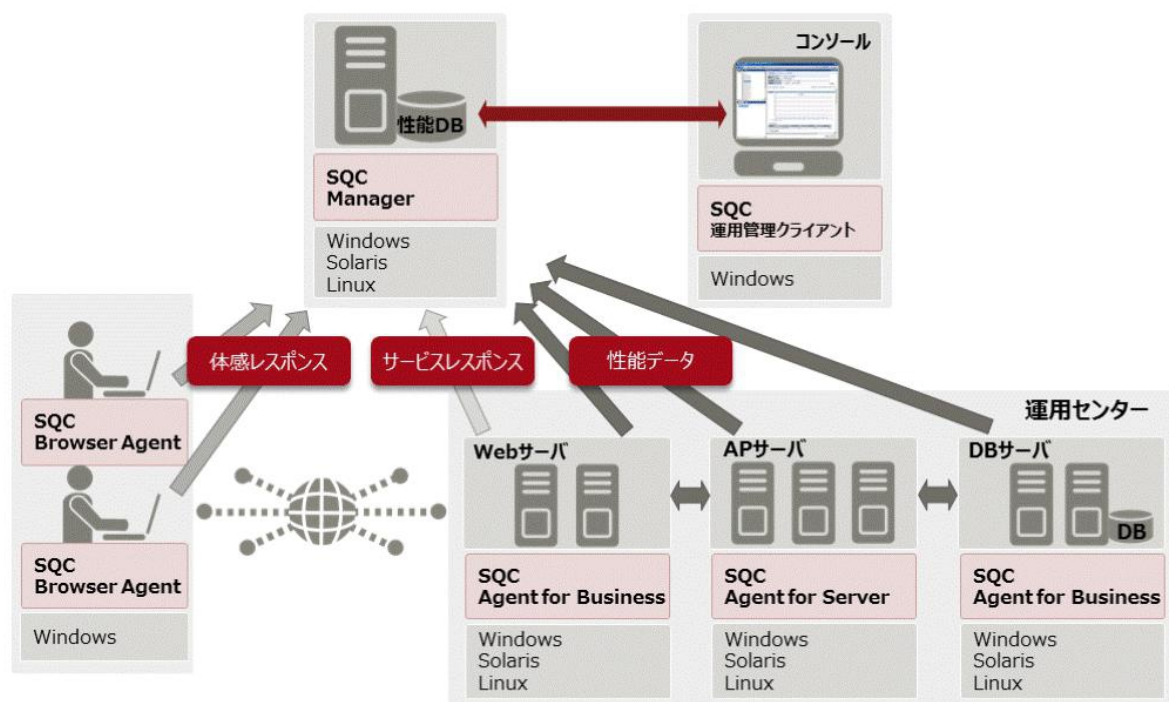
上記「3. 管理項目」を参照してください。

6. インストールレスの性能情報収集

Agentをインストールせずに、リモートでサーバおよび仮想ホストのリソース状況を収集・蓄積・分析する機能を提供します。被管理対象サーバがAIXの場合は、インストールレスの形態での運用となります。

7. 大規模／高信頼システムへの対応

クラスタ環境／冗長二重化による高信頼性運用やManagerの二階層化による大規模システム運用を実現することができます。



注) SQC : Systemwalker Service Quality Coordinator

名称	説明
Enterprise Manager	・各部門単位に配置されたManagerを一元管理します。Managerを二階層で構築し、負荷分散することにより、大規模なシステムも管理することが可能になります。【Enterprise Editionのみ】
Manager	・AgentおよびProxy Managerが収集した情報は、Managerで一括管理します。また、Browser Agentが収集した情報を受信するサーバとしての役割も果たします。 ・インストールレス型エージェント機能では、管理対象サーバにAgentを導入することなく、Managerからリモートで性能情報を収集することができます。
Proxy Manager	・ManagerとAgentの間で中継機能を提供します。ManagerとAgentが、ファイアウォールで区切られる形態で、Proxy ManagerをAgent側サイトに配置して中継することにより、サイトのセキュリティを高めることができます。また、Managerが行う、Browser Agentが採取した情報の収集サーバの役割を代替することができます。
運用管理クライアント	・Managerに接続して、管理・操作するためのコンソール機能を提供します。運用管理者は、運用管理クライアントをインストールしたマシンの他、別マシン上からも、Webブラウザを運用管理クライアントに接続することにより、管理操作を行うことができます。動作プラットフォームは、Windowsのみです。ManagerのプラットフォームがWindowsの場合は、Managerと運用管理クライアントを同一サーバに導入することができます。
Agent	・サーバのリソース情報(CPU、メモリ、ディスクなど)を収集するほか、Interstageなどのミドルウェアの情報やSymfawareやOracleのデータベースの情報などを収集します。また、Web利用状況管理が可能です。
Browser Agent	・エンドユーザーがWebサーバにアクセスした情報から、エンドユーザーが体感するレスポンスを測定します。動作プラットフォームは、Windowsのみです。

[管理対象と必要なライセンス] (1/3)

(記号の説明)

M : Manager
 AB : Agent for Business
 AS : Agent for Server
 AV : Agent for Virtual Environment
 BA : Browser Agent

◎ : 該当のミドルウェアを管理するために必要な最下位のライセンス
 ○ : 上位のライセンスで管理可能
 各管理項目について◎と○の機能差はありません。
 - : 対象外

*1) インストール型Agent
 *2) インストールレス型Agent

管理対象		M	AB	AS		AV	BA
				(※1)	(※2)	(※2)	
サービスレベル管理							
	仮想ホスト						
	VMware	－	－	－	○	◎	－
	Hyper-V	－	○	○	○	◎	－
	Linux仮想マシン機能 (KVM)	－	○	○	○	◎	－
	cgroup	－	○	◎	－	－	－
	Oracle VM Server for x86	－	－	－	◎	－	－
	Oracle Solaris ゾーン	－	○	○	○	◎	－
	Oracle VM Server for SPARC	－	○	○	○	◎	－

[管理対象と必要なライセンス] (2/3)

管理対象		M	AB	AS (*1) (*2)		AV (*2)	BA
	OS						
	CPU、メモリ、ディスク、ネットワークなどのサマリ情報	○	○	◎	◎	-	-
	上記のサマリ情報に加え、プロセス、IPC資源などの診断向け情報	○	○	◎	-	-	-
	ストレージ						
	ETERNUS SF Storage Cruiser	○	○	◎	-	-	-
	ネットワーク						
	Systemwalker Centric Manager	○	○	◎	-	-	-
	Systemwalker Network Manager	○	○	◎	-	-	-
	ジョブ						
	Systemwalker Operation Manager	○	○	◎	-	-	-
	アプリケーションサーバ						
	Enterprise Application Platform	○	○	◎	-	-	-
	Interstage Application Server	○	○	◎	-	-	-
	Microsoft .NET Framework (Microsoft .NET Server)	○	○	◎	-	-	-
	Primesoft Server	○	○	◎	-	-	-
	Interstage Business Application Server	○	◎	-	-	-	-
	Oracle WebLogic Server	○	◎	-	-	-	-
	SAP NetWeaver	○	◎	-	-	-	-
	Webサーバ						
	Webトランザクション量管理	○	◎	-	-	-	-

管理対象		M	AB	AS		AV	BA
				(*1)	(*2)	(*2)	
	データベースサーバ						
	Symfoware Server	○	◎	—	—	—	—
	Symfoware Analytics Server	○	◎	—	—	—	—
	Oracle Database Server	○	◎	—	—	—	—
	Microsoft SQL Server	○	◎	—	—	—	—
	Enterprise Postgres	○	◎	—	—	—	—
	PostgreSQL	○	◎	—	—	—	—
	サービスバス						
	Interstage Service Integrator	○	◎	—	—	—	—
	ユーザーデータ管理	○	○	◎	—	—	—
	エンドユーザレスポンス管理	—	—	—	—	—	◎
Web利用状況管理							
	利用状況分析(注)	○	◎	—	—	—	—
	改ざん監視(注)	○	◎	—	—	—	—

注) 以下では機能を提供していません。

- Linux版(Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64)上で動作する場合)
- Linux版(Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64)上で動作する場合)
- Solaris版

V15.2.4からV15.2.5の機能強化項目は、以下のとおりです。

1. 新規環境への対応

●Manager/Agent for Business/Agent for Serverの動作環境

OS：Windows Server 2025(64-bit)に対応します。

●Oracle Database Serverとの連携

マルチテナント構成に対応します。

●クラスタ環境

以下の環境に対応します。

- ・Windows Server 2025(64-bit)

- ・ オンラインマニュアル

- Systemwalker Service Quality Coordinator 解説書
- Systemwalker Service Quality Coordinator 導入手引書
- Systemwalker Service Quality Coordinator 使用手引書
- Systemwalker Service Quality Coordinator 使用手引書(コンソール編)
- Systemwalker Service Quality Coordinator リファレンスマニュアル
- Systemwalker Service Quality Coordinator トラブルシューティングガイド
- Systemwalker Service Quality Coordinator Web利用状況管理編
- Systemwalker Service Quality Coordinator 用語集

【メディア】

- Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition メディアパック (64bit) V15a (V15.2.5)

(注) V15.2.5は64bit版メディアパックのみです。

【サブスクリプションライセンス／サポート】

[サブスクリプションライセンス／サポート(月額払い)]

- Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition プロセッサライセンス (Manager用) for Windows (SL&S)
- Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition プロセッサライセンス (Agent for Business用) for Windows (SL&S)
- Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition プロセッサライセンス (Agent for Server用) for Windows (SL&S)
- Systemwalker Service Quality Coordinator Standard Edition プロセッサライセンス (Agent for Virtual Environment用) for Windows (SL&S)
- Systemwalker Service Quality Coordinator Browser Agent 1ライセンス for Windows (SL&S)
- Systemwalker Service Quality Coordinator Browser Agent 20ライセンス for Windows (SL&S)

[サブスクリプションライセンス／サポート(まとめ払い)]

- Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition プロセッサライセンス (Manager用) for Windows (SL&S) 7年
- Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition プロセッサライセンス (Agent for Business用) for Windows (SL&S) 7年
- Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition プロセッサライセンス (Agent for Server用) for Windows (SL&S) 7年
- Systemwalker Service Quality Coordinator Standard Edition プロセッサライセンス (Agent for Virtual Environment用) for Windows (SL&S) 7年
- Systemwalker Service Quality Coordinator Browser Agent 1ライセンス for Windows (SL&S) 7年
- Systemwalker Service Quality Coordinator Browser Agent 20ライセンス for Windows (SL&S) 7年

1. Enterprise Editionを購入する条件

(1) Manager

以下のいずれかの場合に、Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition プロセッサライセンス(マネージャ用)を購入してください。

- ・ クラスタシステムの場合
- ・ マネージャを二重化する場合
- ・ マネージャを二階層化する場合
- ・ 接続するAgentが1つでもSystemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition プロセッサライセンス(Agent for Business/Agent for Server用)を利用する場合

(2) Agent

以下の場合に、Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition プロセッサライセンス(エージェント用)を購入してください。

- ・ クラスタシステムの場合

2. メディアパックについて

メディアパックは、媒体(CD/DVD等)のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途、ライセンスを購入する必要があります。初回購入時には、最低1本のメディアパックとサブスクリプションライセンス/サポートを同時にご購入ください。

本メディアパックの購入でバージョンアップ/レベルアップすることはできません。

バージョンアップ/レベルアップする場合は本メディアパックを購入せず、アップグレード権を行使してメディアを入手してください。

3. プロセッサライセンスについて

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバまたはインストールレス型Agentにて管理するサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下のとおりに必要なライセンスです。

- ・ シングルコアプロセッサの場合は、1プロセッサあたり1本の購入が必要です。
- ・ マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数(小数点以下端数切上げ)分のライセンスの購入が必要です。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）」内、「ライセンスについて、くわしく知る」を参照ください。

4. ライセンスについて

(1) 運用管理クライアント

運用管理クライアントは、インストールフリーです。

(2) Browser Agent

エンドユーザーレスポンスを測定するブラウザマシンの台数分、Browser Agentライセンスを購入してください。

(3) インストールレスについて

Agentをインストールしないで、インストールレスの形態で管理する場合は、以下のライセンスを購入してください。

(ア) 仮想ホストを監視する場合

Systemwalker Service Quality Coordinator Standard Edition プロセッサライセンス (Agent for Virtual Environment用)

(イ) (ア)以外の場合

Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition プロセッサライセンス (Agent for Server用)

5. サブスクリプションライセンス／サポートでの最新プログラムの提供について

サブスクリプションライセンス／サポート契約の一環として、最新バージョン/レベルのプログラムを提供いたします。（お客様からのご要求が必要です。）

6. クラスタ運用時の購入方法

(1) Manager

運用待機形態の場合、運用系ノード、待機系ノードを合わせて1システムと見なします。1システム毎に購入が必要です(待機系ノードのライセンスは不要です。)

なお、Managerは、運用待機形態のみサポートしています。

(2) Agent

運用待機形態の場合、運用系ノード、待機系ノードを合わせて1システムと見なします。1システム毎に購入が必要です(待機系ノードのライセンスは不要です。)

運用待機形態以外の場合は、ノード数分の購入が必要です。

7. 購入時の特約事項

サブスクリプションライセンス／サポートの契約におけるライセンス使用条件の特約事項について記載します。

【V15.2.5】

[Manager用ライセンスに適用されるライセンス使用条件]

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第(1)号、またはライセンス条件説明書の第1項「基本的なご使用方法①」第(1)号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

(2) インストールレス型エージェントの使用について

インストールレス型エージェントを使用すると、監視対象とするサーバ（以下「業務サーバ」といいます）にSystemwalker Service Quality CoordinatorのAgent用プログラムをインストールすることなく、業務サーバを監視できるようになります。

インストールレス型エージェントを使用する場合、業務サーバに搭載されているCPU数に応じて、以下のライセンスをご購入いただく必要があります。

（ア）富士通が指定する仮想化ソフトウェアにより設定される、業務サーバ上の仮想ホストを監視する場合

Systemwalker Service Quality Coordinator プロセッサライセンス

(Agent for Virtual Environment用)

または

Systemwalker Service Quality Coordinator プロセッサライセンス (Agent for Server用)

（イ）（ア）以外の場合

Systemwalker Service Quality Coordinator プロセッサライセンス (Agent for Server用)

(3) オープンソースソフトウェア等のライセンス条件

本製品等のうち、富士通が別途定めるオープンソースソフトウェア等（以下「OSS」という）については、サブスクリプションライセンス／サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に加えて、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件が適用されます。ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件にサブスクリプションライセンス／サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書と異なる定めがある場合は、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件の定めが優先して適用されるものとします。

(4) オープンソースソフトウェア等に関する保証の範囲

サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書記載の第8項「保証の範囲」、またはライセンス条件説明書記載の第4項「共通事項」第5号の定めにかかわらず、対象プログラムのソフトウェア説明書に特定されたOSSに関して富士通がお客様に対して負う責任は、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書記載の第8項「保証の範囲」第(1)号および第(2)号、またはライセンス条件説明書記載の第4項「共通事項」第5号a.およびb.に限られるものとします。本号に定める責任を除き、富士通はOSSについて一切の保証を行わず、またOSSの使用に伴い生じる損害や第三者からの請求等について一切の責任を負わないものとします。

[Agent for Business用ライセンスに適用されるライセンス使用条件]

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第(1)号、またはライセンス条件説明書の第1項「基本的なご使用方法①」第(1)号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

(2) オープンソースソフトウェア等のライセンス条件

本製品等のうち、富士通が別途定めるオープンソースソフトウェア等（以下「OSS」という）については、サブスクリプションライセンス／サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に加えて、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件が適用されます。ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件にサブスクリプションライセンス／サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書と異なる定めがある場合は、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件の定めが優先して適用されるものとします。

(3) オープンソースソフトウェア等に関する保証の範囲

サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書記載の第8項「保証の範囲」、またはライセンス条件説明書記載の第4項「共通事項」第5号の定めにかかわらず、対象プログラムのソフトウェア説明書に特定されたOSSに関して富士通がお客様に対して負う責任は、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書記載の第8項「保証の範囲」第(1)号および第(2)号、またはライセンス条件説明書記載の第4項「共通事項」第5号a.およびb.に限られるものとします。本号に定める責任を除き、富士通はOSSについて一切の保証を行わず、またOSSの使用に伴い生じる損害や第三者からの請求等について一切の責任を負わないものとします。

[Agent for Server用ライセンスに適用されるライセンス使用条件]

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第(1)号、またはライセンス条件説明書の第1項「基本的なご使用方法①」第(1)号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

(2) インストールレス型エージェントの使用について

Systemwalker Service Quality CoordinatorのManager用プログラムに含まれる「インストールレス型エージェント」を利用すると、管理対象とするサーバ（以下「業務サーバ」といいます）にSystemwalker Service Quality CoordinatorのAgent用プログラムをインストールすることなく、業務サーバを監視できるようになります。

お客様は、本製品等により、上記「インストールレス型エージェント」を利用して、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に定めるライセンス数分のCPUを搭載した業務サーバを監視することができます。

ただし、この場合、対象プログラムをインストールして監視する業務サーバのCPU数と、「インストールレス型エージェント」を利用して監視する業務サーバのCPU数の合計は、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に定めるライセンス数を越えないものとします。

(3) オープンソースソフトウェア等のライセンス条件

本製品等のうち、富士通が別途定めるオープンソースソフトウェア等（以下「OSS」という）については、サブスクリプションライセンス／サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に加えて、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件が適用されます。ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件にサブスクリプションライセンス／サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書と異なる定めがある場合は、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件の定めが優先して適用されるものとします。

(4) オープンソースソフトウェア等に関する保証の範囲

サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書記載の第8項「保証の範囲」、またはライセンス条件説明書記載の第4項「共通事項」第5号の定めにかかわらず、対象プログラムのソフトウェア説明書に特定されたOSSに関して富士通がお客様に対して負う責任は、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書記載の第8項「保証の範囲」第(1)号および第(2)号、またはライセンス条件説明書記載の第4項「共通事項」第5号a.およびb.に限られるものとします。本号に定める責任を除き、富士通はOSSについて一切の保証を行わず、またOSSの使用に伴い生じる損害や第三者からの請求等について一切の責任を負わないものとします。

[Agent for Virtual Environment用ライセンスに適用されるライセンス使用条件]

(1) オープンソースソフトウェア等のライセンス条件

本製品等のうち、富士通が別途定めるオープンソースソフトウェア等（以下「OSS」という）については、サブスクリプションライセンス／サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に加えて、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件が適用されます。ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件にサブスクリプションライセンス／サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書と異なる定めがある場合は、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件の定めが優先して適用されるものとします。

(2) オープンソースソフトウェア等に関する保証の範囲

サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書記載の第8項「保証の範囲」、またはライセンス条件説明書記載の第4項「共通事項」第5号の定めにかかわらず、対象プログラムのソフトウェア説明書に特定されたOSSに関して富士通がお客様に対して負う責任は、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書記載の第8項「保証の範囲」第(1)号および第(2)号、またはライセンス条件説明書記載の第4項「共通事項」第5号a.およびb.に限られるものとします。本号に定める責任を除き、富士通はOSSについて一切の保証を行わず、またOSSの使用に伴い生じる損害や第三者からの請求等について一切の責任を負わないものとします。

[Browser Agent用ライセンスに適用されるライセンス使用条件]

(1) オープンソースソフトウェア等のライセンス条件

本製品等のうち、富士通が別途定めるオープンソースソフトウェア等（以下「OSS」という）については、サブスクリプションライセンス／サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に加えて、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件が適用されます。ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件にサブスクリプションライセンス／サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書と異なる定めがある場合は、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件の定めが優先して適用されるものとします。

(2) オープンソースソフトウェア等に関する保証の範囲

サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書記載の第8項「保証の範囲」、またはライセンス条件説明書記載の第4項「共通事項」第5号の定めにかかわらず、対象プログラムのソフトウェア説明書に特定されたOSSに関して富士通がお客様に対して負う責任は、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書記載の第8項「保証の範囲」第(1)号および第(2)号、またはライセンス条件説明書記載の第4項「共通事項」第5号a.およびb.に限られるものとします。本号に定める責任を除き、富士通はOSSについて一切の保証を行わず、またOSSの使用に伴い生じる損害や第三者からの請求等について一切の責任を負わないものとします。

【V15.2.4/V15.2.3】

[Manager用ライセンスに適用されるライセンス使用条件]

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第(1)号、またはライセンス条件説明書の第1項「基本的なご使用方法①」第(1)号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

(2) インストールレス型エージェントの使用について

インストールレス型エージェントを使用すると、監視対象とするサーバ（以下「業務サーバ」といいます）にSystemwalker Service Quality CoordinatorのAgent用プログラムをインストールすることなく、業務サーバを監視できるようになります。

インストールレス型エージェントを使用する場合、業務サーバに搭載されているCPU数に応じて、以下のライセンスをご購入いただく必要があります。

（ア）富士通が指定する仮想化ソフトウェアにより設定される、業務サーバ上の仮想ホストを監視する場合

Systemwalker Service Quality Coordinator プロセッサライセンス

(Agent for Virtual Environment用)

または

Systemwalker Service Quality Coordinator プロセッサライセンス (Agent for Server用)

（イ）（ア）以外の場合

(3) オープンソースソフトウェア等のライセンス条件

本製品等のうち、富士通が別途定めるオープンソースソフトウェア等（以下「OSS」という）については、サブスクリプションライセンス／サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に加えて、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件が適用されます。ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件にサブスクリプションライセンス／サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書と異なる定めがある場合は、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件の定めが優先して適用されるものとします。

[Agent for Business用ライセンスに適用されるライセンス使用条件]

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第(1)号、またはライセンス条件説明書の第1項「基本的なご使用方法①」第(1)号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

(2) オープンソースソフトウェア等のライセンス条件

本製品等のうち、富士通が別途定めるオープンソースソフトウェア等（以下「OSS」という）については、サブスクリプションライセンス／サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に加えて、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件が適用されます。ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件にサブスクリプションライセンス／サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書と異なる定めがある場合は、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件の定めが優先して適用されるものとします。

[Agent for Server用ライセンスに適用されるライセンス使用条件]

(1) 運用待機構成時

お客様が対象プログラムをインストールするコンピュータが、常時対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「運用系コンピュータ」といいます）と、運用系コンピュータが障害などの理由により使用できない場合にのみ対象プログラムが稼働するコンピュータ（以下「待機系コンピュータ」といいます）により構成されたシステムの場合は、1つのシステムを1台のコンピュータとみなします。その場合、お客様は、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書記載の第3項「サービスの内容」第(1)号、またはライセンス条件説明書の第1項「基本的なご使用方法①」第(1)号により運用系コンピュータに対象プログラムをインストールして使用することに加え、待機系コンピュータに対して、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に定めるライセンス数分、対象プログラムをインストールして使用することができます。

(2) インストールレス型エージェントの使用について

Systemwalker Service Quality CoordinatorのManager用プログラムに含まれる「インストールレス型エージェント」を利用すると、管理対象とするサーバ（以下「業務サーバ」といいます）にSystemwalker Service Quality CoordinatorのAgent用プログラムをインストールすることなく、業務サーバを監視できるようになります。

お客様は、本製品等により、上記「インストールレス型エージェント」を利用して、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に定めるライセンス数分のCPUを搭載した業務サーバを監視することができます。

ただし、この場合、対象プログラムをインストールして監視する業務サーバのCPU数と、「インストールレス型エージェント」を利用して監視する業務サーバのCPU数の合計は、サブスクリプションライセンス／サポート製品のサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に定めるライセンス数を越えないものとします。

(3)オープンソースソフトウェア等のライセンス条件

本製品等のうち、富士通が別途定めるオープンソースソフトウェア等（以下「OSS」という）については、サブスクリプションライセンス／サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に加えて、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件が適用されます。ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件にサブスクリプションライセンス／サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書と異なる定めがある場合は、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件の定めが優先して適用されるものとします。

[Agent for Virtual Environment用ライセンスに適用されるライセンス使用条件]

(1)オープンソースソフトウェア等のライセンス条件

本製品等のうち、富士通が別途定めるオープンソースソフトウェア等（以下「OSS」という）については、サブスクリプションライセンス／サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に加えて、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件が適用されます。ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件にサブスクリプションライセンス／サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書と異なる定めがある場合は、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件の定めが優先して適用されるものとします。

[Browser Agent用ライセンスに適用されるライセンス使用条件]

(1)オープンソースソフトウェア等のライセンス条件

本製品等のうち、富士通が別途定めるオープンソースソフトウェア等（以下「OSS」という）については、サブスクリプションライセンス／サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書に加えて、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件が適用されます。ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件にサブスクリプションライセンス／サポートのサービス仕様書、またはライセンス条件説明書と異なる定めがある場合は、ソフトウェア説明書に記載されるライセンス条件の定めが優先して適用されるものとします。

8. 購入例

以下のシステム構成の場合、購入対象商品と購入数は下記ようになります。

(A) 購入例1

〔システム構成〕

Manager(2コア、2CPU構成、クラスター運用)：1システム

仮想ホスト(4コア、2CPU構成)：1システム

〔対象商品と購入数〕

- Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition メディアパック (64bit) V15a (V15.2.5) → 必要数分
- Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition プロセッサライセンス(Manager用) for Windows (SL&S) → 2コア×2CPU×コア係数分
- Systemwalker Service Quality Coordinator Standard Edition プロセッサライセンス(Agent for Virtual Environment用) for Windows (SL&S) → 4コア×2CPU×コア係数分

(B) 購入例2

〔システム構成〕

Manager(2コア、2CPU構成、クラスター運用)：1システム

Agent(2コア、2CPU構成、クラスター運用)：2システム

Browser Agent：3台

〔対象商品と購入数〕

- Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition メディアパック (64bit) V15a (V15.2.5) → 必要数分
- Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition プロセッサライセンス(Manager用) for Windows (SL&S) → 2コア×2CPU×コア係数分

- Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition プロセッサライセンス (Agent for Server用/Agent for Business用) for Windows (SL&S) → 2コア×2CPU×コア係数分×2本
 - Systemwalker Service Quality Coordinator Browser Agent 1ライセンス for Windows (SL&S) → 3本
- Agent商品は、必要となる機能を確認した上で、各Agentに適したライセンス (Agent for Server用/Agent for Business用/Agent for Virtual Environment用) のいずれかを選択してください。

1. Managerの関連ソフトウェア

Webサイト管理機能を使用する場合、以下のいずれかの商品が必要です。

- Microsoft Internet Information Services 8.0以降
- Apache 2.0と互換のWebサーバ

2. Agentの関連ソフトウェア

(1) アラーム通知機能でSystemwalker Centric Managerと連携する場合、以下のいずれかの商品が必要です。

- Systemwalker Centric Manager Standard Edition/Enterprise Edition(エージェント) V13/V15/V17

(2) Webサイト管理機能を使用する場合、以下のいずれかの商品が必要です。

- Microsoft Internet Information Services 8.0以降
- Apache 2.0と互換のWebサーバ

3. 運用管理クライアントの関連ソフトウェア

(1) 運用管理クライアントを使用する場合、以下のいずれかの商品が必要です。

- Microsoft Internet Information Services 8.0以降
- Interstage HTTP Server(Interstage Application Server同梱) 7.0以降

(2) 運用管理クライアントが提供する管理画面を表示するためには、以下のいずれかのブラウザが必要です。

- Microsoft EdgeのInternet Explorer (IE)モード
- Windows Internet Explorer 11(注1)

(注1)WindowsサーバOS上のデスクトップ版Internet Explorerの利用が可能です。

4. Browser Agentの関連ソフトウェア

Browser Agentを使用する場合、以下のブラウザが必要です。

- Microsoft EdgeのInternet Explorer (IE)モード

5. クラスタ運用時における関連ソフトウェア

クラスタ環境においてSystemwalker Service Quality Coordinatorを使用する場合、以下のOSに含まれるフェールオーバークラスタリングが必要となります。

- Windows Server 2016(64-bit)
- Windows Server 2019(64-bit)
- Windows Server 2022(64-bit)
- Windows Server 2025(64-bit)

Managerは1:1運用待機形態のみ対応します。

なし

1. Windows サーバOS (64-bit)上での動作

本商品の運用管理クライアントは、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows Server 2016(64-bit)
- Windows Server 2019(64-bit)
- Windows Server 2022(64-bit)
- Windows Server 2025(64-bit)

注：Windows 32-bit On Windows 64-bit

2. Windows デスクトップOS (64-bit)上での動作

本商品の運用管理クライアントおよびBrowser Agentは、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows 11(64-bit)

注：Windows 32-bit On Windows 64-bit

3. パブリッククラウドについて

対象となるパブリッククラウドについては、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（ソフトウェアの一覧表（システム構成図）と各種対応状況）」内の「OSへの対応状況」でご確認ください。

4. Microsoft Internet Information Servicesのアクセスログ分析について

利用状況分析機能でMicrosoft Internet Information Servicesのアクセスログを分析する場合、アクセスログをASCIIテキストファイルの形式で採取するようにしてください。ODBC準拠データベース形式で採取されたログの分析はできません。

5. Agent商品の同一サーバへの導入

同一サーバへ複数のAgent商品（Agent for Business/Agent for Server/Agent for Virtual Environment）を導入することはできません。

注：各Agent商品の機能は、本ソフトウェアガイドの「システム/機能構成図」の表を参照してください。

6. Enterprise EditionとStandard Editionの混在

購入方法にある「Enterprise Editionを購入する条件」を満たしていれば、Agent商品において、Enterprise EditionとStandard Editionの混在環境での運用が可能です。

7. バージョンの混在環境における使用可能な機能範囲

複数バージョンが混在した場合、基本的に旧版の機能範囲で動作します。

8. 管理対象製品が32-bit版の場合について

管理対象製品(※)がWindows(32-bit)版の場合、監視するAgentも32-bit版にする必要があります。

32-bit版のAgentが必要な場合、以下のメディアパック(V15.1.1)をご利用ください。

- Windows(32-bit)版 Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition メディアパック V15.1.1

管理対象製品のサポート範囲に関する情報は、マニュアルの「Systemwalker Service Quality Coordinator 解説書」をご覧ください。

マニュアルについては、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（マニュアル）」を参照してください。

※Interstage Application Server、Oracle WebLogic Server

9. IPv6環境での動作について

Agent/Proxy ManagerとManager間、およびインストールレス型AgentとManager/Proxy Manager間の通信が、以下の場合について管理対象のIPv6環境をサポートします。

- ・ Agent/Proxy Manager - Manager間（Push通信）
- ・ インストールレス型Agent - Manager間（TELNET/SSH/HTTPS/WMI通信）

IPv6環境のAgent/Proxy Manager/インストールレス型Agentを管理する場合、ManagerはIPv4/IPv6デュアルスタック環境にしてください。また、Manager - 運用管理クライアント間はIPv4で通信できるようにしてください。

IPv6のみの環境の場合、Windows版 Managerと運用管理クライアントを同居させる構成にすることにより動作可能です。

この場合、運用管理クライアントとManagerとの通信はループバックによるIPv4通信になります。運用管理クライアントで設定する接続先Managerに「127.0.0.1」を指定してください。

以下の機能はIPv6に対応していません。

- Webトランザクション量管理
- エンドユーザーレスポンス管理
- Web利用状況管理

10. JIS2004対応の注意事項

本商品はJIS2004のJIS第3/4水準文字が使用された場合、JIS第3/4水準文字が「？」に置き換えられ処理されます。

11. 排他製品について

本商品の排他製品に関する情報は、マニュアルの「Systemwalker Service Quality Coordinator 導入手引書」をご覧ください。

マニュアルについては、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（マニュアル）」を参照してください。

12. パッケージの構成について

Systemwalker Service Quality Coordinator Enterprise Edition メディアパックには、以下のプログラムとマニュアルが同梱されています。

- Enterprise Manager用プログラム
- Manager用プログラム
- Proxy Manager用プログラム
- Agent for Server用プログラム
- Agent for Business用プログラム
- Browser Agent 用プログラム
- 運用管理クライアント用プログラム
- オンラインマニュアル

13. インストールについて

本商品はDVDで提供されます。

インストールにはDVDドライブユニットが必要です。

DVDドライブユニットが搭載されていないマシンの場合は別途手配が必要です。

DVDドライブユニットを入手できない場合は、DVD装置が接続されているPRIMERGYまたはFMVのDVDドライブをNFSにてマウントし、ネットワーク経由でインストールを行います。(ただし、ローカルのDVDドライブユニットと比べて作業工数を要します。)

14. Windows Server 2025/Windows Server 2022/Windows Server 2019/Windows Server 2016を管理対象としたインストールレス型Agent管理機能について

管理対象のサーバのOSがWindows Server 2025(64-bit)/Windows Server 2022(64-bit)/Windows Server 2019(64-bit)/Windows Server 2016(64-bit)である場合、インストールレス型Agent管理(サーバ性能管理)機能において、通信方式としてTELNETを利用することができません。

監視サーバのOSがWindowsの場合は、通信方式としてWMIを利用してください。

監視サーバのOSがSolarisまたはLinuxの場合は、管理対象のサーバのWindows Server 2025(64-bit)/Windows Server 2022(64-bit)/Windows Server 2019(64-bit)/Windows Server 2016(64-bit)上にAgentをインストールして管理してください。

15. 前版との違いについて

以下のOSについては、サポート対象外となります。

[運用管理クライアント / Browser Agent]

—Windows 10(64-bit) / Windows 10

[インストールレス型Agent]

—HP-UX

以下の機能については、提供を終了しました。

- Interstage Application Server連携におけるトランザクション内訳分析機能

お客様向けURL

- **ソフトウェア：富士通（Systemwalker Service Quality Coordinator）**
製品概要や動作環境、導入事例、価格等、製品紹介資料を幅広く提供しております。
<https://www.fujitsu.com/jp/software/systemwalker/sqc/>
- **ソフトウェア：富士通（ソフトウェアの一覧表（システム構成図）と各種対応状況）**
価格/型名の一覧（システム構成図）を提供しております。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/condition/configuration/>
- **ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）**
「ライセンスについて、くわしく知る」の項で、富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポートポリシーなどの情報を提供しております。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>
- **ソフトウェア：富士通（マニュアル）**
富士通のソフトウェア製品に添付されているマニュアルが閲覧できます。
<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/resources/manual/>